

福祉学習 車いす・アイマスク体験

10月17日(木)に大樹会の方や舞鶴YMCA国際福祉専門学校の方々に来ていただき、車いすやアイマスク体験をしました。足が動かしづらい方や視覚障害のある方が日頃どのような生活を送っているのか実際に体験しました。車いすでは、一人で動かすときの注意点や介助者としての注意点を教わり実際に車いすを押したり、坂道や段差の上り下りを補助したいしました。アイマスク体験では、アイマスクをつけ、ペアの友達に介助をしてもらい教室を歩きました。介助者は視覚障害のある方が安心して行動できるような言葉かけや、移動のときの細かな言葉かけ(「進みます。」や「止まります。」など)が必要なんだと実感していました。

体験を通して「足が使えない、目が見えないと不安」「障害のある方の気持ちを知ることができた。」など福祉について考えることができました。

